

深溝松平家の歴史の一部が明らかになりました

昨年8月に三河地方を襲った集中豪雨により東御廟所に築かれた深溝松平家7代当主松平忠雄公の墓が傾いてしまい、その修復に伴う発掘調査が本光寺と本光寺深溝松平家東御廟所調査会によって行われました。調査は4月から5月中旬にかけて行われましたが、今回の調査により多くの事実が明らかとなりました。

○発掘調査で何がわかったの？

- ①地下に納められた木棺が崩れたことが墓石の傾いた大きな理由の一つであることがわかりました。
- ②当時の松平家の暮らしぶりや文化水準がわかりました。全国的にも出土例がないガラス製グラス、見事な蒔絵の施された印籠、大量の貨幣などの豊富な副葬品、六角形の木棺に遺体を収める珍しい埋葬方法は、全国で行われた大名墓の調査結果を上回る成果になります。



豪雨で傾いたお墓



蒔絵印籠6セット



ガラス製グラス

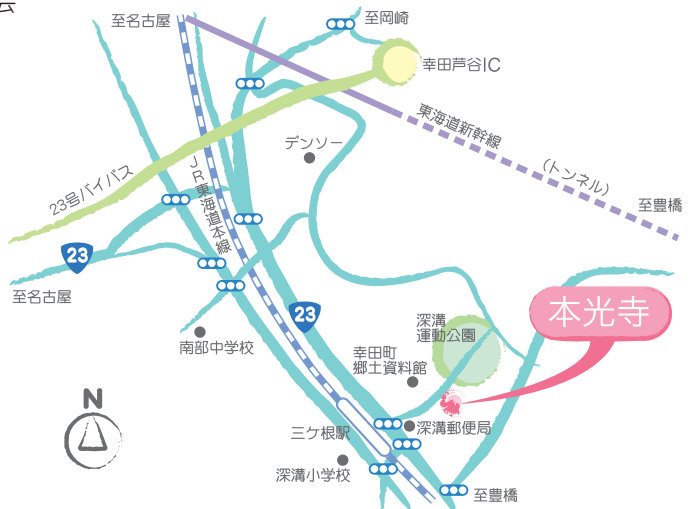


小判と一分金

写真提供：本光寺深溝松平家東御廟所調査会

小判を除く発掘された副葬品の一部は、6月1日から30日まで開催される本光寺紫陽花まつりの期間中の土日の午前10時から午後3時まで、本光寺内松平資料館（入館料300円）でご覧いただけます。

問合せ 生涯学習課生涯学習G（内線432）



毎月1日発行

〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
 ☎(0564)62-1111 FAX(0564)63-5139
 幸田町ホームページ☑<http://www.town.kota.lg.jp/>
 Eメール☑kota@town.kota.lg.jp